

## 5 行財政マネジメント

### (1) 行政の使命

本町が目指す将来イメージの実現のため、行政は以下の使命に基づいて行財政マネジメントを行います。

行政の使命

## 自ら行動し地域の活力の最大化に貢献する

### (2) 行財政マネジメントの基本方針

厳しい財政状況が続く中で、将来イメージを実現するためには、縦割り行政の壁を越え、多くの政策分野を横断的に取り組み、様々な部署が連携するだけでなく、地域や民間の活力を活用するなど、従来の行財政マネジメントを革新していくことが求められます。そのため、以下を行財政マネジメントの基本方針とします。

## 行財政マネジメントの基本方針

#### 【基本責務】

限られた予算を有効に活用し、より高い成果を追求する。

#### 【執行手段の焦点と方向性】

##### 焦点①：行政組織の内部運営の効率化

方向性：法的制約がないものは、実施過程の改善を探求する。

##### 焦点②：市場メカニズム（機能）の活用

方向性：行政よりも効率的・効果的なものは民間へ外部委託。

##### 焦点③：町民自治・自助・共助の支援

方向性：行政ありきではなく、町民や自治組織などとの協働・共創を促進。

#### 【執行手段の評価の徹底】

事業効果は絶えず検証し、反省点を次に生かす。

#### 【執行手段の革新化】

失敗を恐れず、小さく始め、高速で改善し、革新的な手段を模索する。

#### 【職員の行動指針】

町民、企業、関係団体、その他多くの人々を巻き込んでまちづくりを楽しむ。

## 4-1 職員の成長とやりがい



### 1. 現状と課題

本町が持続していくための政策や事業を企画・実行していくには、人材の確保、成長、意欲、挑戦が必要となります。

### 2. 目指すべき将来像

#### (1) 目指すべき将来像

町職員が継続的に学び、やりがいを持って働くことで成長し、前例にとらわれず挑戦し、活気ある職場が人材を惹きつける好循環の醸成を目指します。

#### (2) 将来像の実現に向けて

本町として求める人材像が職員に浸透するよう、人材育成などの方針を職員に継続的に伝達します。また、今後重要となる知識・技術について、習得を促すための研修を組織的・計画的に実施するとともに、職員の自己研鑽を支援します。

そのため、自己研鑽に励んでいる職員や実績を残した職員が適正に評価される人事評価制度の運用を進めます。

職員のやりがいと意欲を引き出し、仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すため、残業の削減を始めとした働き方改革を進めます。また、出産や育児によって女性が活躍をあきらめることのないよう、子育てと仕事を両立できる職場環境づくりを役場が率先して実現し南知多町全体に広めていくため、まず役場内の意識を変えていくとともに、町内事業所の模範となるよう、管理職に占める女性職員の割合や男女の育児休暇取得率といった指標を公表していきます。

### 3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
特定事業主行動計画	平成2年度～令和6年度
南知多町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画	令和3年度～令和7年度
南知多町障害者活躍推進計画	令和2年度～令和7年度
南知多町男女共同参画計画	平成30年度～令和13年度

### 4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度(%)	87	95

## 4-2 業務の高度化、効率化



### 1. 現状と課題

人口減少や高齢化、インフラなどの老朽化に伴う課題が深刻化する中、限られた予算・人員で課題の解決に取り組んでいくためには、業務の高度化・効率化が求められます。

### 2. 目指すべき将来像

#### (1) 目指すべき将来像

町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や町民満足度の向上を目指します。

#### (2) 将来像の実現に向けて

地域社会をとりまく環境の変化に合わせて適切に人員配置を行い、迅速に意思決定を行っていくため、組織機構の見直しを検討します。

業務を自動化・効率化し、職員が政策企画などに注力するため、革新技術の導入やデータ連携の推進と、併せて業務の流れの見直しを検討します。

地域課題の解決や民間のデータ活用に資するため、データの積極的な公開を進めるとともに、政策立案や行財政運営におけるデータ活用を進めます。

新技術などの導入に伴って発生する情報漏洩などのリスクに対応するため、適切な内部統制を構築し、職員及び関係者のセキュリティ意識の向上を図ります。

### 3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
辺地総合整備計画	令和元年度～令和6年度

### 4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度(%)	89	95

## 4-3 町民の満足度向上



### 1. 現状と課題

人口の流出を抑制し地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要です。

### 2. 目指すべき将来像

#### (1) 目指すべき将来像

町民の満足度が向上することで、本町に住み続けたいと思う町民が増加することを目指します。また、近年ではSNSなどにより、住みやすさなどについての町民のイメージも容易に拡散するため、良いイメージが町外に広がることを目指します。

#### (2) 将来像の実現に向けて

町民の不満や前向きな意見を効果的に反映するため、アンケートの実施方法を工夫し、満足度の変化を追跡調査していくことを検討します。

効果的に町民満足度を高めるため、従来の政策を漫然と継続するのではなく、ターゲットとする世代などにとって重要な分野について重点的に予算、人員などの行政資源を配分していきます。

業務の効率化などにより、政策立案や町民対応など、満足度向上に重要な業務に職員が注力できる環境を整えるとともに、町民対応に係る自己点検や研修に取り組みます。

#### (3) 地域との協働

町民意識調査への協力や、建設的な意見を頂き、事業などに可能な限り反映させるなど、町民との協働・共創による満足度向上に取り組みます。

### 3. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度(%)	84	95

## 4-4 持続可能な行財政運営



### 1. 現状と課題

人口減少・高齢化や厳しい財政状況が深刻化する中でも、本町の行財政を持続可能なものとしていくため、今から備えていく必要があります。

### 2. 目指すべき将来像

#### (1) 目指すべき将来像

将来にわたり持続可能な財政を維持し、かつ必要な行政サービスも維持していくための財務体質の構築を目指します。

#### (2) 将来像の実現に向けて

インフラ、建物などの公共施設について、人口・財政の長期的な見通しに基づき、重要なものは維持しつつ、人口規模などに応じた適切な水準への再編を進めます。また、将来の維持管理費を削減するための長寿命化などの対策を進めます。

現在、本町が直営で実施しているサービスについて、コスト削減やサービスの向上、より効率的な業務が期待できる場合は、民間活用を検討します。

各種補助金などに加え、企業版ふるさと納税などの新たな手法も含め、必要に応じ可能な限り有利な資金調達方法を検討します。

本町の自然、コミュニティ、人材など、地域の資源を活かして、各分野の政策・事業を展開します。

#### (3) 地域との協働

生活や事業の水準を可能な限り落とすことなく行政をコンパクト化していくために、民間のノウハウの活用、地域社会との連携を進めます。

### 3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町公共施設等総合管理計画	平成29年度～令和12年度
地域再生計画	令和元年度～令和3年度
辺地総合整備計画	令和元年度～令和6年度
南知多町橋梁長寿命化修繕計画	平成26年度～毎年度更新
南知多町舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度
漁港施設機能保全計画	各漁港ごとに設定
ごみ減量化基本計画	平成28年度～令和4年度
南知多町ごみ減量化(有料化)実施計画	平成29年度～設定なし
庁内環境率先実行計画	令和3年度～令和7年度

### 4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度(%)	84	95

